

みんなのひろば

少年少女球技大会

男子8チーム、女子15チームが参加して行われたバスケットボールの部では、各チームごとに個性が光り、白熱した試合が繰り広げられました。
12月14日(土)・15日(日)／市民体育館
(撮影：市民カメラマン・中村仁)



少年



市

市民体育館開館10周年記念事業

開館10周年を迎えた市民体育館。所沢北高校、所沢中央高校のチアダンス・吹奏楽の演奏のあと、バレーボールや健康体操(写真)などのイベントが行われました。

11月23日(祝)・24日(日)／市民体育館
(撮影：市民カメラマン・三平資郎)



花

谷八幡湿地収穫祭餅つき大会

谷八幡湿地保存会の皆さんによる、餅つき大会が行われました。三ヶ島小学校の児童も参加し、コツを教わりながら一生懸命にお餅をついて、つきたてのお餅の味を楽しみました。

12月1日(日)／谷八幡湿地
(撮影：市民カメラマン・津田資雄)



所沢シティマラソン大会

冬の風物詩である第24回所沢シティマラソン大会。会場やコースの沿道は、7,050人のランナーと応援にかけつけた観客で大変にぎわいました。
12月8日(日)／西武ドームほか
(撮影：市民カメラマン・木村清貴)

歴史まめ知識 ⑬

今回は、千年に起こった所沢の主な出来事の中から3項目を選んで紹介します。

天文15年(1546) 河越夜戦 “かわごえよいくさ”とも読みます。江戸時代前夜の関東を舞台に、新興の北条氏が上杉氏ら旧勢力を打倒して、関東一円に覇権を築ききつた戦いです。この戦いで扇谷上杉氏の当主は討ち死にし、関東管領であった山内上杉氏の当主は上州に落ちのびて、家臣の大石氏は北条氏の軍門に下ります。柳瀬地区の滝の城もこの時期に北条氏の支配下に入りました。この河越夜戦の後、敗れた斎藤信広という人物が所沢に落ちのび、土着して「蔵殿権現」(まめ知識⑩/平成23年9月号参照)の場所に神明社を祭ったと伝えられています。

昭和5年(1930) 組合立所沢病院開設 この年、所沢町外6ヶ村組合による病院が所沢駅の東に建設されました。6ヶ村は富岡、山口、小手指、吾妻、松井、柳瀬の各村で、「隔離病舎」の流れをくむ病院でしたが、伝染病の治療だけでなく、一般患者の治療のため、内科・小児科・外科・産婦人科を備えていました。後に合併や市制施行により町立、市立となり、昭和51年、新設の市民医療センターにその機能を移し、閉鎖されました。



▲市立所沢病院(昭和42年)

昭和53年(1978) 所沢航空記念公園開設 昭和46年、長年の運動が実って米軍基地の約6割が返還されると、跡地には続々と公共施設が建設されることになりました。目玉となったのは50万㎡に及ぶ県営公園の建設で、大宮や上尾などの県営公園の利用が不便だっただけに、この計画には市民の大きな期待が集まりました。名称は、「航空発祥の地」を広めたい市の要望を反映して、「所沢航空記念公園」と決まりました。
問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究グループ
☎2991-0308 ☎2991-0309

重松流ZAWAカレー (ZAWAバーガー)

今回は、11月16日に所沢航空記念公園で行われた、第1回所沢グルメ王座決定戦にて見事最優秀賞に選ばれた「重松流ZAWAカレー(ZAWAバーガー)」のレシピを紹介します。



- ★重松流ZAWAカレー (ZAWAバーガー)
- 材料(5人分)
- ・トマト……………中1/2〜1個
 - ・にんにく……………1/2片
 - ・スライスチーズ…2枚半〜5枚
 - ・レタス……………3枚ほど
 - ・油揚げ……………5枚
 - ・ほうれん草……………1/2束
 - ・うどん……………乾麺200g
 - ・ゆで麺の場合500g
 - ・味付きからあげ粉……………適宜
 - ・サラダ油……………適宜
 - ・コンソメ(粒)……………大さじ1
 - ・カレー粉……………大さじ1
- 作り方
- ①トマトを5枚にスライス、にんにくはみじん切り、スライスチーズは三角形に切り、レタスは適当なサイズに切る。油揚げは長辺を1辺切り、袋にする入口を作る。
 - ②ほうれん草とうどんをゆで、ほうれん草は絞って水気を切り、3cmの長さ切る。
 - ③油揚げの両面に味付きからあげ粉をまぶす。
 - ④フライパンを熱し、サラダ油を多めに入れ、にんにくを炒める。
 - ⑤②を加えて炒め、コンソメとカレー粉で味と風味を調える。
 - ⑥⑤を油揚げに詰め、トースターで3分ほど焼く。
 - ⑦焼きあがった油揚げを半分に切り、レタス、トマト、チーズを挟んで出来上がり。

ここがポイント 使用食材は所沢産・埼玉産・国産!

重松流祭ばやしを編み出した古谷重松が登場する、北秋津の民話「狐の玉」。古谷重松が北秋津に現れた白狐を驚かせ、ビックリした拍子にちぎれて丸まった白狐のしっぽ。持ち帰り大切に祭ると、商売が繁盛したというお話です。
この民話を題材にして誕生したのが重松流ZAWAカレー(ZAWAバーガー)。狐の好物である油揚げと、所沢名物のうどん、特産品のほうれん草など、使う食材は所沢産・埼玉産・国産を使うことが、北秋津発祥の福(商売繁盛)を呼び新しいご当地グルメです。
問い合わせ 商業観光課 ☎2998-9155 ☎2998-9162

はっぴー野老っ子

外見の美しさはもちろんのこと「知性・感性・人間性・内面・自信」の5つを兼ね備え、国際舞台上で活躍できる女性でなければならない「ミス・ユニバース日本代表」。今回は、そのミス・ユニバース日本代表の座を賭けて各都道府県のライバルと戦う埼玉大会グランプリ・園田杏奈さんをご紹介します。
8歳から始めたバレエに打ち込む傍ら中学2年生からモデルの仕事をするようになります。
高校進学を機に本格的に芸能活動を始め「水着キャンペーンガールや広告モデル、女優などいろいろな仕事をさせてもらっていました」と多方面で活躍するようになったそんな折、インターネット上での中傷やブログのなりすましの被害に遭ってしまいます。
「関係者の方々や友人、何より私を信じて『杏奈がやりたいことをやりなさい』と言ってくれた両親が悲しむ姿を見ていたら、もう続けられないな…と思いました」。過度のストレスから脱毛症や皮膚炎を患い、人とのコミュニケーションにも障害が出てしまうほどに。回復に約2年の歳月を要しました。
「何よりも家族と親友の支えがあったからだと思います。両親や兄の温かい気遣いや兄が経営する保育室での子どもとの触れ合い、親



ミス・ユニバース・ジャパン埼玉代表

園田 杏奈さん(市内在住)
友の「杏奈の体験を後輩や同じ病で苦しむ人のために発信していきたい」という言葉でいろいろなところで包み隠さず話すようになり、少しずつ回復に向かっていました」と話してくれました。
25歳の誕生日をきっかけに自分に何ができるかを模索し始め「モデルの仕事で培った経験が生かして、同じ悩みを抱える女性の支えになり、自分を救ってくれた子どもたちの笑顔を守るにはどうすれば」と考え、ミス・ユニバースに思い至ります。
審査を兼ねたレッスンであるビューティーキャンプでは「グランプリは1人ですけど、ライバルを蹴落とすのではなく、みんなで作り上げていくことを心掛けていました」と持ち前のリーダーシップや辛い経験を乗り越えた芯の強さを発揮し、見事埼玉大会グランプリに。
3月の日本大会に向け「日本代表になることで情報発信力はさらに高まると思います。目指すきっかけとなった『思い』を発信し続け、ゆくゆくはいろいろな夢を持つ子どもたちに自分の経験を伝えて背中を押せたらうれしいです」とその先も見据えた夢を語ってくれた園田さん。
ぜひ皆さんも応援をお願いします。



▲埼玉大会の様子

誰でもハッシー

◆「テーマイルミネーション」ハートの中心
北中 加納 知明
所沢駅西口広場のイルミネーションが見渡せる場所に、大きなハートのイルミネーションがあります。先日その前に行ってみると、おじいさんとおばあさんが写真を撮ろうかと、仲良く写真を撮っていました。仲むつまじい風景がほほえましい光景でした。
ふと、ちやうど3年前の冬を思い出しました。結婚したての私は、妻と前写真撮るつかなと思ったのですが、人の目が気になり、ちよつと恥かしくてやめてしましました。でもその2人の先輩夫婦を見て、あんなふうになれたらいいなと思った今年の冬なのでした。

◆好きな所沢
久米 貝崎 さおり
所沢に住んで10年過ぎました。駅前のイルミネーションは優しく温かいです。毎年この時期に感じています。仕事から帰ってきて、きれいなイルミネーションが目に入ってくるのがホッとします。今年も休日、写真撮ろうかなと思っています。
所沢の活性化として色々なイルミネーションに、毎年ワクワクしながら過ごしているのですが、人も景色も全てが大好きで、すてきな友達にも出会った所沢に住んでいる事を、これからも誇りに思います。

◆憧れのイルミネーション
北秋津 関 裕枝
イルミネーションといえば都心のデパートやお店らしいものだったが、道沿いや公園、一般住宅でも目にするようになってきた。子どもが小さい頃、クリスマス近くに出かけたときは、市内有名なスポットを通って帰ったものだ。それぞれのお宅の趣向が凝らされたイルミネーションを見て回るの、とても楽しかった。
そして、夜のウォーキングはこの時期イルミネーション見学コースへ変わる。近所の二世帯住宅のお宅にもイルミネーションがあるが、お孫さんと一緒に飾ったのだろう。我が家もやってみよう、いかにセンスがない。どなたかご指導いただけませんか。

